

特別プログラム

【学術集会企画】

■ Special Lecture

6月29日(金) 11:10~12:00 第1会場(3F ロイトンホール AB)

Special Lecture 1

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科)

New era for hemophilia, future never looked that bright

PedNet Haemophilia Research Foundation **H.Marijke van den Berg**

6月30日(土) 11:10~12:00 第1会場(3F ロイトンホール AB)

Special Lecture 2

座長：渥美 達也(北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室)

Neutrophil extracellular traps and autoimmunity and vasculopathy

Systemic Autoimmunity Branch National Institute of Arthritis and Musculoskeletal and Skin Diseases

National Institutes of Health Bethesda, MD, USA **Mariana J. Kaplan**

■ 教育講演

6月28日(木) 14:40~15:30 第3会場(2F エンプレスホール)

教育講演 1

座長：和田 英夫(三重大学病院)

ショックに伴う止血凝固異常

北九州市立八幡病院外科／消化器・肝臓病センター **岡本 好司**

6月28日(木) 15:35~16:25 第3会場(2F エンプレスホール)

教育講演 2

座長：後藤 信哉(東海大学医学部内科学系循環器内科学)

二次性 von Willebrand 症候群の病態と診断・治療

東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野 **堀内 久徳**

6月30日(土) 9:00~9:50 第3会場(2F エンプレスホール)

教育講演 3

座長：松下 正(名古屋大学医学部附属病院輸血部)

動脈硬化性疾患における抗血小板療法の現状と展望

東京女子医科大学医学部神経内科学 **山崎 昌子**

6月30日(土) 9:55~10:45 第3会場(2F エンプレスホール)

教育講演 4

座長：小嶋 哲人(名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座)

日常診療で遭遇する血液凝固異常と血栓性素因

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学 **森下英理子**

6月30日(土) 14:10~15:00 第3会場(2F エンプレスホール)

教育講演 5

座長：浦野 哲盟(浜松医科大学医生理学講座)

線溶検査の A to Z

旭川医科大学臨床検査医学講座／旭川医科大学病院臨床検査・輸血部 **藤井 聡**

■ State of the Art Lecture

6月29日(金) 13:25~14:15 第3会場(2F エンプレスホール)

State of the Art Lecture 1

座長：村田 満(慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

Advances in the Treatment of Venous Thromboembolism

Department of Medicine and Biochemistry and Biomedical Sciences, McMaster University, Canada

Jeffrey Weitz

6月29日(金) 14:20~15:10 第3会場(2F エンプレスホール)

State of the Art Lecture 2

座長：富山 佳昭(大阪大学医学部附属病院輸血部)

Changes in the treatment of VTE and evidence from the real world

Department of Medicine and Surgery University of Insubria, Varese, Italy **Walter Ageno**

■ 会長シンポジウム

「免疫病態と血栓止血学の最前線」

6月29日(金) 9:00~11:00 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：渥美 達也(北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室)

家子 正裕(北海道医療大学歯学部内科学講座)

1. 補体活性化異常と血栓性微小血管障害の最前線

東京大学大学院医学系研究科腎臓内科学／内分泌病態学 **南学 正臣**

2. 膠原病の血管障害の最前線

日本医科大学アレルギー膠原病内科 **桑名 正隆**

3. 抗リン脂質抗体症候群の最前線：抗C1q抗体の病態への関与

北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室 **奥 健志**

4. 後天性凝固因子インヒビターの最前線

北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系内科学講座 **家子 正裕**

5. ITP と TTP の最前線

埼玉医科大学病院総合診療内科(血液)・血栓止血センター **宮川 義隆**

【学会本部企画】

■ 学術奨励賞受賞講演

6月28日(木) 12:10~13:30 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：宮田 敏行(国立循環器病研究センター脳血管内科)

「基礎」

Peri-arteriolar megakaryopoietic microenvironment via reciprocal CLEC-2/PDPN axis in mouse bone marrow

名古屋大学大学院医学研究科医療技術学専攻病態解析学講座 **田村 彰吾**

「基礎」

Plasminogen Tochigi mice show reduced fibrinolytic activity but exhibit phenotypes similar to wild-type mice under experimental thrombotic conditions

名古屋大学大学院医学研究科生物化学講座分子細胞化学分野 田嶋 優子

「臨床」

Severe reduction of free-form ADAMTS13, unbound to von Willebrand factor, in plasma of patients with HELP syndrome

東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科 吉田 瑤子

■ 岡本賞受賞講演

6月28日(木) 13:35~14:20 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科)

「Shosuke Award」

Molecular mechanism of atherothrombosis: lessons from patient-oriented research

大阪大学医学部附属病院輸血部 富山 佳昭

■ JSTH/APSTH 学会合同シンポジウム

Time to reappraise cutting-edge basic science to further reduce thrombotic risk

6月30日(土) 9:00~11:00 Room 8(2F クリスタルルーム C)

座長：浅田祐士郎(宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野)

Christopher Ward (Northern Blood Research Centre, Kolling Institute, University of Sydney, Australia / Dept of Haematology, Royal North Shore Hospital, Sydney, Australia)

1. Spatiotemporal analysis of membrane surface-based fibrinolysis on vascular endothelial cells and activated platelets

Department of Medical Physiology, Hamamatsu University School of Medicine, Japan **Yuko Suzuki**

2. Discovering Novel Anticoagulants from Nature

Department of Medicine, Yong Loo-Lin School of Medicine, National University of Singapore

Mark Y. Chan

3. Procoagulant platelets: a potential new target in thrombosis

Platelet and Thrombosis Research Laboratory, ANZAC Research Institute, University of Sydney, Australia

/ Department of Haematology, Concord Hospital, Sydney, Australia **Vivien M.Y. Chen**

4. Development of Novel Drug-Eluting Stents for Acute Myocardial Infarction

Department of Cardiovascular Medicine, Chonnam National University Hospital, Korea

Myung Ho Jeong

■ 日本血栓止血学会・日本救急医学会ジョイントシンポジウム

「DIC 診断 UP TO DATE」

6月30日(土) 14:10~16:10 第4会場(2F リージェントホール)

座長：池添 隆之(福島県立医科大学血液内科学講座)

真弓 俊彦(産業医科大学救急医学講座)

1. 頭部外傷と DIC

札幌東徳洲会病院侵襲制御救急センター 丸藤 哲

2. 敗血症性 DIC の病態と治療

順天堂大学医学部救急・災害医学 射場 敏明

3. 造血器障害型 DIC の診断

独立行政法人国立病院機構災害医療センター血液内科 竹迫 直樹

4. TTP における凝固検査の検討：DIC との鑑別が可能か？

奈良県立医科大学輸血部 酒井 和哉

奈良県立医科大学輸血部 松本 雅則

〔共催：積水メディカル株式会社 / 日本製薬株式会社〕

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 1

「血液凝固とその制御機構の最近のトピックス—Current topics on blood coagulation and its regulatory mechanism—」

6月28日(木) 14:40~16:25 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：野上 恵嗣(奈良県立医科大学小児科)

森下英理子(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学)

1. Characterization of FVIII-producing cells in vivo

自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門 早川 盛禎

2. FVIII is closely intertwined with extrinsic coagulation in the initiation phase on cell-based coagulation process

奈良県立医科大学 小児科学教室 / 血栓止血分子病態学講座 古川 晶子

3. Impact of different oral contraceptives on anticoagulation factors in Japanese women

国立循環器病研究センター周産期・婦人科, 再生医療部 三好 剛一

4. Many of the prothrombin mutations in the sodium-binding region cause an antithrombin-resistance phenotype

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座 田村 彰吾

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 2

「血小板信号伝達研究と血小板 beyond clotting role 研究の最前線—Frontier of the research in platelet signal transduction and beyond-clotting roles of platelets—」

6月29日(金) 9:00~10:45 第4会場(2F リージェントホール)

座長：井上 克枝(山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学講座)
大森 司(自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門)

1. Live imaging of extracellular signal-regulated kinase and protein kinase A activities during thrombus formation in mice expressing biosensors based on Förster resonance energy transfer
京都大学大学院医学研究科病態生物医学 松田 道行
2. Functional analysis of ASK family in hemostasis and tumor metastasis
東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室 神山 美樹
3. Beyond-clotting role of platelets in early placentation
大津赤十字病院産婦人科 佐藤 幸保
4. Platelets as a novel key player in organogenesis: Clec-2/podoplanin interaction regulates fetal lung development
山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系臨床検査医学講座 築地 長治

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 3

「リンパ管形成の制御機構と病態—Regulation of lymphatic vascular development and related pathological conditions—」

6月29日(金) 13:25~15:10 第4会場(2F リージェントホール)

座長：島岡 要(三重大学大学院医学系研究科分子病態学)
平島 正則(神戸大学大学院医学研究科生理学・細胞生物学講座血管生物学分野)

1. Intravital visualization of lymphatic systems in living mice
自治医科大学分子病態治療研究センター分子病態研究部 西村 智
2. Intrinsic mechanism for specification of venous and lymphatic endothelial cells
慶應義塾大学医学部解剖学教室 久保田義顕
3. Lymphatic vascular development and embryonic edema in mice
神戸大学大学院医学研究科生理学・細胞生物学講座血管生物学分野 平島 正則
4. Physiological importance of Piezo mechanically activated ion channel in sensory neurons, the vasculature system and red blood cells
基礎生物学研究所初期発生研究部門 野々村恵子
5. Lymph ducts and cutaneous immune responses
京都大学大学院医学研究科皮膚科学 江川 形平

■ 学術推進委員会(SPC)シンポジウム 4

「血栓症病態への好中球の関与を議論する—Discuss how neutrophils contribute to the pathogenesis of thrombotic diseases—」

6月30日(土) 9:00~10:45 第4会場(2F リージェントホール)

座長：伊藤 隆史(鹿児島大学病院救命救急センター)

早川 峰司(北海道大学病院先進急性期医療センター)

1. The role of leukocytes in the thrombus formation in sepsis
順天堂大学医学部救急災害医学研究室 射場 敏明
2. Detecting methods of neutrophil activation and extracellular trap formation, and investigation using disease mouse models
シスメックス株式会社学術研究部リサーチ課 河野 麻理
3. Leukocyte-derived extracellular DNA can occlude the extracorporeal circulation circuit
山形大学大学院医学系研究科麻酔科学講座 八島 望
4. The involvement of immunothrombosis in septic multiple organ failure
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬理学 和氣 秀徳

【企業共催企画】

■ 第10回 Bayer Thrombosis Seminar

「新たな臨床エビデンスに基づく、血栓症リスクへのアプローチ」

6月28日(木) 17:05~19:05 第1会場(3F ロイトンホール AB)

Opening Remarks

北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室 渥美 達也

講演 1. 座長：池田 康夫(早稲田大学)
百寿者からスーパーセンテナリアン研究へ—健康長寿のモデルを求めて—
慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター 広瀬 信義

講演 2. 座長：矢坂 正弘(国立病院機構九州医療センター脳血管センター)
高血圧のエビデンスと血栓症リスク
大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学 樂木 宏実

講演 3. 座長：内山真一郎(国際医療福祉大学臨床医学研究センター／山王病院・山王メディカルセンター脳血管センター)
糖尿病の心血管イベントリスクへのアプローチ J-DOIT3 研究のエビデンスに学ぶ
東京大学医学部附属病院／帝京大学医学部 門脇 孝

講演 4. 座長：小嶋 哲人(名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座)
血栓性動脈硬化症予防を目指した脂質異常症の管理
帝京大学臨床研究センター 寺本 民生

講演 5. 座長：是恒 之宏(国立病院機構大阪医療センター)
血栓塞栓症リスク因子としての心房細動へのアプローチ
済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科不整脈先端治療部門 奥村 謙
〔共催：バイエル薬品株式会社〕

■ 第7回 プロテイン S 研究会シンポジウム

〔血液凝固制御因子プロテイン S～最新の話〕

6月29日(金) 13:15~15:15 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学)

森下英理子(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学)

1. プロテイン S 活性, プロテイン S 比活性測定の臨床的有用性

九州大学名誉教授 濱崎 直孝

長崎国際大学薬学部臨床検査学 隈 博幸

2. 産婦人科領域でのプロテイン S 比活性測定の意義

九州大学病院産科婦人科 河野 善明

3. Impact of protein S deficiency in pregnancy -associated VTE and adverse pregnancy outcomes

Haematologist and Obstetric Physician, National Women's Health, Auckland City Hospital, Auckland,

New Zealand

Claire McLintock

4. 組織因子経路インヒビターとプロテイン S の最近の話題

国立循環器病研究センター脳血管内科 宮田 敏行

5. 血中プロテイン S 濃度とアポリポタンパク質 C-II の関連

中村学園大学大学院栄養科学研究科 津田 博子

〔共催：株式会社シノテスト〕

■ 第 11 回 DAIICHI-SANKYO SYMPOSIUM FOR THROMBOSIS UPDATE

「血栓症研究のアップデート」

6月29日(金) 15:20~17:50 第1会場(3F ロイトンホール AB)

Opening Remarks

北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室 渥美 達也

講演 1. 座長：大森 司(自治医科大学学生化学講座病態生化学部門)
医療への応用を目指した、立体構造に基づく CRISPR：Cas9 ゲノム編集ツールの開発
東京大学大学院理学系研究科 濡木 理

講演 2. 座長：浅田祐士郎(宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野)
健康維持における脂肪酸クオリティの重要性
慶應義塾大学薬学部代謝生理化学講座／理化学研究所生命医科学研究センターメタボローム研究
チーム／横浜市立大学大学院生命医科学研究科 有田 誠

講演 3. 座長：梅村 和夫(浜松医科大学薬理学)
人工心臓の進歩と血栓止血管理
東北大学大学院医学系研究科心臓外科学分野 齋木 佳克

講演 4. 座長：矢坂 正弘(独立行政法人国立病院機構九州医療センター脳血管センター)
がん関連血栓症 (Cancer-associated thrombosis) における腫瘍循環器の役割
大阪国際がんセンター成人病ドック科 向井 幹夫

Closing Remarks

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野 浅田祐士郎
〔共催：第一三共株式会社〕

■ CSL ベーリングスポンサードシンポジウム

「血栓止血学の温故知新一炎症・止血・創傷治癒におけるクロストークー」

6月29日(金) 9:00~11:00 第3会場(2F エンプレスホール)

座長：福武 勝幸(東京医科大学臨床検査医学分野)
山崎 昌子(東京女子医科大学神経内科)

1. 一次止血機構の病態生理

名古屋大学医学部附属病院輸血部 松下 正

2. 二次止血の機序

奈良県立医科大学小児科学教室 野上 恵嗣

3. 凝固・線溶反応から創傷の修復・治癒に至る過程

山形大学医学部 一瀬 白帝

4. 補体系と凝固・線溶系のクロストーク

国立循環器病研究センター脳血管内科 宮田 敏行

[共催：CSL ベーリング株式会社]

■ 中外スポンサードシンポジウム

「ヘムライブラによりインヒビター保有血友病 A の治療はいかに変わるか？」

6月30日(土) 9:00~11:00 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学小児科学)

天野 景裕(東京医科大学臨床検査医学分野)

1. ヘムライブラの臨床成績

奈良県立医科大学小児科 野上 恵嗣

2. インヒビター保有小児血友病患者における臨床成績を踏まえたヘムライブラへの期待と課題

聖マリアンナ医科大学小児科 長江 千愛

3. ヘムライブラ投与における看護

荻窪病院血液凝固科 和田 育子

4. ヘムライブラで変わる？インヒビター患者さんの気持ち

荻窪病院血液凝固科 小島 賢一

[共催：中外製薬株式会社]

■ スポンサーードシンポジウム

「補体制御異常による TMA の診断と治療」

6月30日(土) 14:10~16:10 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：藤村 吉博(日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

村田 満(慶應義塾大学医学部・医学研究科臨床検査医学教室)

Opening Remarks

藤村 吉博

1. 血栓性微小血管症と補体

国立循環器病研究センター脳血管内科 宮田 敏行

2. 補体制御異常による TMA の診断と治療

東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科 加藤 秀樹

3. 腎移植と aHUS

東京女子医科大学病院 田邊 一成

Closing Remarks

村田 満

〔共催：アレクシオンファーマ合同会社〕

【企業企画】

■ ランチョンセミナー 1

6月28日(木) 11:10~12:00 第4会場(2F リージェントホール)

座長：朝倉 英策(金沢大学附属病院)

血友病の個別化治療：そこに匙加減はあるのか？

東京医科大学臨床検査医学分野 天野 景裕

〔共催：バイエル薬品株式会社〕

■ ランチョンセミナー 2

6月29日(金) 12:15~13:05 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：堀内 久徳(東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野)

小児血友病治療のポイントー当センターの経験からー

埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科 康 勝好

〔共催：バイエル薬品株式会社〕

■ ランチョンセミナー 3

〔静脈血栓塞栓症における最新の知見〕

6月29日(金) 12:15~13:05 第2会場(1F キャッスル)

座長：家子 正裕(北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系内科学講座)

1. 病理像からみる静脈血栓症

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野 浅田祐士郎

2. わが国の静脈血栓塞栓症ガイドラインの主な改訂点について

桑名市総合医療センター 山田 典一

〔共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／ファイザー株式会社〕

■ ランチョンセミナー 4

〔半減期延長型製剤の臨床経験〕

6月29日(金) 12:15~13:05 第3会場(2F エンプレスホール)

座長：藤井 輝久(広島大学病院輸血部)

1. 成人血友病患者の特徴と臨床における経験

名古屋大学医学部附属病院検査部 兼松 毅

2. 小児血友病治療の特徴 ～新しい薬剤選択の可能性～

札幌徳洲会病院血友病センター 金田 眞

〔共催：シャイアー・ジャパン株式会社〕

■ ランチョンセミナー 5

6月29日(金) 12:15~13:05 第4会場(2F リージェントホール)

座長：渥美 達也(北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室)

自己抗体による出血傾向・血栓性素因

日本医科大学アレルギー膠原病内科 桑名 正隆

〔共催：株式会社医学生物学研究所〕

■ ランチョンセミナー 6

6月29日(金) 12:15~13:05 第5会場(2F クリスタルルーム A)

座長：浦野 哲盟(浜松医科大学医生理学講座)

「日本血栓止血学会 DIC 診断基準」の有用性と fibrin related markers

三重大学医学部検査医学 和田 英夫

〔共催：積水メディカル株式会社〕

■ ランチョンセミナー 7

6月29日(金) 12:15~13:05 第6会場(2F クリスタルルーム B)

座長：池田 寿昭(東京医科大学八王子医療センター)

敗血症性 DIC の診断と治療；臨床の現場から—AT 製剤特定使用成績調査報告からの解析—

滋賀医科大学救急集中治療医学講座 江口 豊

〔共催：一般社団法人 日本血液製剤機構〕

■ ランチョンセミナー 8

6月30日(土) 12:15~13:05 第1会場(3F ロイトンホール AB)

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学小児科学教室)

定期補充療法をベースとした血友病 A の個別化治療の実際

広島大学病院輸血部 藤井 輝久

〔共催：バイエル薬品株式会社〕

■ ランチョンセミナー 9

「血友病患者の将来を見据えた関節症予防とマネジメント」

6月30日(土) 12:15~13:05 第2会場(1F キャッスル)

座長：富山 佳昭(大阪大学医学部附属病院輸血部)

1. 整形外科の観点からの血友病患者の関節症マネジメント

奈良県立医科大学人工関節・骨軟骨再生医学講座 稲垣 有佐

2. 血友病性関節症と MRI

「今さら聞けない」MRIの基本的なところと関節症マネジメントの実際

聖マリアンナ医科大学放射線医学講座 橘川 薫

[共催：CSL ベーリング株式会社]

■ ランチョンセミナー 10

6月30日(土) 12:15~13:05 第3会場(2F エンプレスホール)

座長：窓岩 清治(東京都済生会中央病院臨床検査医学科)

先天性および後天性血友病Aにおけるそれぞれの課題

奈良県立医科大学小児科学講座 武山 雅博

[共催：一般財団法人 化学及血清療法研究所]

■ ランチョンセミナー 11

6月30日(土) 12:15~13:05 第5会場(2F クリスタルルーム A)

座長：後藤 信哉(東海大学医学部内科学系循環器内科学)

Embolic Stroke of Undetermined Source(ESUS)

国際医療福祉大学臨床医学研究センター／山王病院・山王メディカルセンター脳血管センター

内山真一郎

[共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社]

■ モーニングセミナー 1

6月29日(金) 7:50~8:40 第3会場(2F エンプレスホール)

座長：白幡 聡(産業医科大学名誉教授)

進化する血友病A治療と明日からの取りくみ

東京医科大学臨床検査医学分野 天野 景裕

[共催：CSL ベーリング株式会社]

■ モーニングセミナー 2

[DIC 診療 Up-to-date]

6月29日(金) 7:50~8:40 第5会場(2F クリスタルルーム A)

座長：池添 隆之(福島県立医科大学血液内科学講座)

1. 内科系 DIC ならびに DIC 疑い症例の病態

三重大学医学部検査医学 和田 英夫

2. 外科・救急領域における DIC について

北九州市立八幡病院外科／消化器・肝臓病センター 岡本 好司

[共催：旭化成ファーマ株式会社]

■ モーニングセミナー 3

6月29日(金) 7:50~8:40 第6会場(2F クリスタルルームB)

座長：鈴木 隆史(医療法人財団荻窪病院血液凝固科)

血友病治療の新時代に向けて-個別化治療時代の補充療法

三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 松本 剛史

[共催：ファイザー株式会社]

■ モーニングセミナー 4

6月30日(土) 8:00~8:50 第3会場(2F エンプレスホール)

座長：小嶋 哲人(名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座)

さらなる血友病患者のQOL向上を目指して

聖マリアンナ医科大学小児科 長江 千愛

[共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社]

■ イブニングセミナー 1

6月29日(金) 17:55~18:45 第3会場(2F エンプレスホール)

座長：渥美 達也(北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室)

Measurement of anti-factor Xa activity in Japanese patients on factor Xa inhibitor for non-valvular atrial fibrillation

公立陶生病院循環器内科 長内 宏之

[共催：アイ・エル・ジャパン株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/
ファイザー株式会社]

■ イブニングセミナー 2

「血液凝固第 VIII/IX 因子製剤の最近の知見」

6月29日(金) 17:55~18:45 第4会場(2F リージェントホール)

座長：尾崎由基男(医療法人康麗会笛吹中央病院)

1. 血友病 A 治療における最近のトピックス

九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野(小児科) 石村 匡崇

2. 第 IX 因子製剤のトピックスと rFIXFc の臨床的意義

兵庫医科大学血液内科 澤田 暁宏

[共催：バイオベラティブジャパン株式会社]